

会 議 録

会 議 名		第 57 回 八王子市ごみゼロ社会推進協議会			
日 時		令和 2 年(2020 年) 8 月 4 日 (火)	開始	午前 10 時 00 分	終了 午前 11 時 10 分
場 所		八王子市役所 本庁舎議会棟 4 階 第 3・第 4 委員会室			
出席者	委 員	石井委員、鈴木委員、加地委員、間嶋委員、平林委員、天野委員、押山委員、清水委員、安瀬委員、中村委員、大貫委員 以上 11 名			
	事務局等	守屋資源循環部長、木下循環型都市推進専門管理官、真辺ごみ減量対策課長、堂本廃棄物対策課長、岡部清掃施設整備課長、森田ごみ総合相談センター所長、鈴木戸吹清掃事業所長、飯塚館清掃事業所長、岡田戸吹クリーンセンター所長、和田北野清掃工場長 【ごみ減量対策課】林課長補佐、田代主査、前川主査、日下主任、下村主任、小口主事、清水主事、森田専門員 【清掃施設整備課】枝根課長補佐 【ごみ総合相談センター】門倉専門幹、河井主査 【戸吹清掃事業所】小川専門幹 【館清掃事業所】久保田主査			
欠 席 者		佐戸委員、河西委員、上村委員 以上 3 名			
議 題 等		<ol style="list-style-type: none"> 1. 令和元年度ごみ処理基本計画進捗状況報告について 2. 令和 4 年度開始予定のごみ・資源物の収集及び処理体制の見直しについて 3. 新型コロナウイルスの感染拡大防止に伴うイベントの中止について 4. レジ袋（プラスチック製買い物袋）の有料化について 5. その他 			
公開・非公開の別		公開			
傍 聴 人		なし			

<p style="text-align: center;">配布資料</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 会議次第 ・ 八王子市ごみゼロ社会推進協議会 委員名簿 ・ 第 57 回ごみゼロ社会推進協議会 席次表 ・ プレスリリース ごみの少なさ 2 年連続全国 1 位 ・ 令和 2 年(2020 年)4 月 1 日付人事異動 ・ 資料 1-1 令和元年度ごみ処理基本計画進捗状況報告について ・ 資料 1-2 ごみ処理基本計画令和元年度進捗状況 ・ 資料 2-1 令和 4 年度開始予定のごみ・資源物の収集及び処理体制の見直しについて（第 2 回収集品目・収集頻度について） ・ 資料 2-2 収集頻度に関するアンケート調査結果 ・ 資料 3 新型コロナウイルスの感染拡大防止に伴うイベントの中止について ・ レジ袋辞退 7 割超（8/4 日経新聞記事）
<p>会議の内容</p> <p style="margin-top: 100px;">本題</p>	<p>事務局より</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 会議次第と資料確認 ・ 委員変更のお知らせ ・ 管理職人事異動についてお知らせ <p>1. 令和元年ごみ処理基本計画進捗状況報告について</p> <p style="text-align: center;">（ごみ減量対策課 前川主査より資料 1-1、1-2、2-1、2-2 を説明）</p> <p>【意見、質疑応答等】</p> <p>委員：新型コロナウイルス感染症の影響でごみ量が増加傾向にある。また、イベントが中止になり、啓発活動を行うことが難しくなっている。ごみ処理基本計画の目標を達成するために、今後、新しい生活様式に沿った啓発活動を考える必要がある。</p> <p>市：啓発活動については、イベントでの啓発活動に代わる何か方法を今後考えていく。</p> <p>委員：資料 1-2 の基本施策 4-3 の令和 2 年度の取組予定の中で、災害廃棄物処理マニュアルの更新とあるがここ数年大規模災害が発生している。市ではどのように災害廃棄物を処理するのか。</p> <p>市：昨年の台風 19 号発生時は、市の直営収集で災害廃棄物の収集・運搬及び処分をした。今後、昨年以上の規模の災害が発生した時には、仮置場の設置や協定を結んでいる事業者と協力して、災害廃棄物の収集・運搬及び処分をすることができるように対応していく。</p> <p>委員：資料 1-1 の令和元年度ごみ処理基本計画の進捗について、中間目標及び最終目標を達成することができるか。</p>

	<p>市：目標を達成することができるよう進捗管理を行い、取組内容についても必要に応じて変更していく。</p> <p>委員：資料 1-2 に記載されている海洋プラスチック対策について、市ではどのようなことを行っているのか。</p> <p>市：海洋プラスチックの問題について市民の方に理解してもらうため、出前講座の実施や 8 月 15 日の広報特集号で紹介を予定している。</p> <p>委員：資料 1-2 の基本施策 3-3 で記載されている完食応援店の取組について、どのようなことを行っているのか。</p> <p>市：食品ロス削減に関するポスターやステッカーの掲示、小盛メニューの導入等、いくつかの要件のうち、1 つでも満たせば、完食応援店の登録をすることができ、事業者と協力して、食品ロス削減に向けた啓発活動を行っている。</p> <p>2. 令和 4 年度開始予定のごみ・資源物の収集及び収集体制の見直しについて</p> <p style="text-align: center;">(ごみ減量対策課 前川主査より資料 2-1、2-2 を説明)</p> <p>【意見、質疑応答等】</p> <p>委員：新聞や不燃ごみの収集回数が少なくなるが、市民への影響はどのように考えているのか。</p> <p>市：新聞については、全国的に購読者数が 10 年間で約 25%減っていることに加え、行政回収だけでなく、集団回収や新聞販売業者による回収も行っているため、影響は少ないと考えている。</p> <p>また、不燃ごみは、収集量が平成 21 年度比で 76.7%、平成 26 年度比で 21.1%減少していることと、市政モニターの結果等を鑑みると、影響は少ないと考えている。</p> <p>委員：資料 2-1 の中で、収集量が増えている品目もあるが、収集回収頻度を増やすことを検討しているか。</p> <p>市：収集状況に加え、店頭回収等、様々な回収方法を含めて検討していく。</p> <p>市：ペットボトルの収集頻度について、現在 7 月から 9 月については、排出量が増えるため週 1 回の回収としている。近年気候変動等により、5 月頃から気温が高くなるが、保管等で困っていることはあるか。</p>
--	--

委員：保管できない場合は、店頭回収を利用する等して工夫している。

委員：店頭回収については、事業者としても協力をしたいと考えているが、コストがかかるため、継続することが難しくなることもある。また、綺麗なペットボトルと汚れたペットボトルでは、資源価格が異なるため、綺麗な状態を保つことができるよう引き続き市民の方には啓発活動をしてほしい。

委員：ごみを減らすために外出する際は、ペットボトルではなく、水筒を持ち歩くようしている。外出時の水筒の持参率が上がることで、ペットボトルの排出量が減るだけでなく、海洋プラスチック問題の対策にもつながると考えている。

委員：不燃ごみでは、具体的にどのようなものが排出されるのか。

市：小型家電、金属類、ガラス・陶磁器といったものが、排出されている。

3. 新型コロナウイルス感染拡大防止に伴うイベントの中止について

(ごみ減量対策課 林課長補佐より資料3を説明)

【意見、質疑応答等】

委員：ダンボールコンポストに関する新聞記事を6月頃に拝見した。最近では、SNSが普及しているため、市でもSNSを活用して発信をしてほしい。

市：今回記事になっている学生は、市の様々な活動に参加している。今後、協力をして何か取組むことができないか検討していく。

4. レジ袋（プラスチック製買い物袋）の有料化について

(ごみ減量対策課 田代主査より資料4を説明)

【意見、質疑応答等】

委員：レジ袋を有料化したことにより、有料化前は約30%以下だった辞退率が約75%になった。

	<p>8.その他</p> <p>【意見、質疑応答等】</p> <p>委員：古着の回収が停止して、可燃ごみで排出されていることがある。再開の見通しはついているのか。</p> <p>市：古着については、主な輸出先である東南アジアにおいて新型コロナウイルス感染症拡大の影響により輸出ができなくなり、一時的に市施設内に保管していた。古着の回収は続けているが、保管場所に限りがあるため、可能な限り自宅で保管していただくよう、引続き協力をお願いをしている。</p> <p>市から</p> <p>今年度、2年に1回の委員改選時期となっている。 次回は、11月6日（金）から開催を予定している。 次回の会議までは、現在の委員で会議を行う。</p> <p>座長から</p> <p>会議録の署名については、鈴木委員にお願いする。</p>
<p>会議録 署名人</p>	<p>令和 年 月 日 署名人</p>